

基本目標 1 安定した雇用を創出し、地域人材の活躍の場をつくる

数値目標	基準値	目標値	区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	5年間の 合計	令和6年度実績値に対する所見
就業者数	7,740人(平成27年)	6,300人(令和7年)	目標値	—	—	—	—	6,300	—	実績値については、国勢調査実施年度である令和7年度のみ算出可能なため、令和3年度～令和6年度における実績値は算出不可。
			実績値	—	—	—	—		—	

施策名・事業名		重要業績評価指標 (KPI)	区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	5年間の 合計	令和6年度実績値の増減理由及び今後の取り組み
(1) 人材育成・雇用対策										
① 地域人材の就労支援										
豊かな労働環境の充実支援事業	砂川高校からの市内企業就職率 ／36.7% (令和元年)→40.0% (令和7年)	目標値	36.0	37.0	38.0	39.0	40.0	—	市内就職者率は前年より増加した。市内就職者数の増加によるものであり、引き続き効果的な取り組みを検討しながら、事業を継続し更なる市内雇用の促進に努めていく。	
		実績値	36.6	25.0	24.0	40.0		—		
② 企業立地等の促進による就労の拡大										
雇用創出事業 (企業振興促進対策事業)	施設新設等を行った企業の新規雇用者数 ／0人 (令和元年)→15人 (5年間)	目標値	3	3	3	3	3	15	前年度建設補助を実施したシロについて新規雇用助成18人の申請があった。 また、新たな施設増設の補助実績が1件 (ほくやく) あったが、新規雇用に係る助成の申請予定なし。今後2社 (シロ、ライフニックス) に施設新設・増設の補助予定のため、引き続き事業を継続していく必要があると考える。	
		実績値	0	0	0	18		18		
③ 医療・介護従事者等の確保・育成										
介護人材育成支援事業	研修終了者数 ／1人 (令和元年)→35人 (5年間)	目標値	7	7	7	7	7	35	当初予算時、研修の補助について1名を予定していたが、対象事業所である砂川福祉会で対象者がいなかったため実績なしとなった。次年度から対象施設を市内介護施設に拡充しており、3名の受講修了者が予定している。引き続き介護人材の安定確保のため制度活用 の推進に努める。	
		実績値	7	6	5	0		18		
④ 農業の担い手の確保・育成										
農作業受託組織等育成支援事業	農作業受託面積 目標値の設定が困難なため、実績値の管理とする	目標値	—	—	—	—	—	—	随時相談受付を行っているが、農作業受託団体等の組織の設立までは至らなかった。今後も組織の設立を促進していくとともに、農作業を受託している団体等へは機械導入費用などを支援する。	
		実績値	0	0	0	0		—		
新規就農者支援事業	新規就農者数 ／3人 (第1期6年間)→4人 (5年間)	目標値	0	1	1	1	1	4	今年度は1人 (施設園芸) が新規就農した。今後も引き続き新規就農者の誘致の取り組みを図るとともに、新規就農者に対して農業機械や資材等の購入への支援を実施する。	
		実績値	2	0	1	1		4		
(2) 産業の競争力強化										
① 商工業振興策の実施										
地域ブランド定着推進事業	チームを構成する事業者数 ／21事業者 (令和元年)→75事業者 (令和7年)	目標値	41	51	59	67	75	—	(一社)オアリパによるイベントの実施を行ってきた。参加事業者数が減少したものの、砂川スイートロード協議会の地域ブランド部会を立ち上げ (一社)オアリパが担当している。今後は (一社)オアリパと連携を継続し、商品開発など各種事業の実施により地域ブランドの定着を推進する。	
		実績値	40	47	50	46		—		
	地域ブランドの商品数 ／22品 (令和元年)→50品 (令和7年)	目標値	30	35	40	45	50	—	(一社)オアリパとの連携により、市内外でのイベントに出展した。新たな商品開発はなかったものの今後も事業者同士の連携を促し、商品開発に取り組みたい。	
		実績値	29	29	31	31		—		
創業支援事業	創業支援事業に基づく新規創業件数及び事業承継件数 ／2件 (令和元年)→4件 (令和7年)	目標値	2	2	3	3	4	—	ワンストップ相談窓口などの創業支援事業及び関係団体の連携により、3件の創業が実現した。また、商工会議所による創業セミナーが開催され、延35人 (実9人) が参加した。今後とも関係団体と連携して情報発信等を行い、創業希望者を支援する。	
		実績値	5	6	2	3		—		
② 農業振興策の実施										
農業6次産業化支援事業	連携取組数 目標値の設定が困難なため、実績値の管理とする	目標値	—	—	—	—	—	—	随時相談受付を行っているが実績はなかった。今後も6次産業化に向けた取り組みを推進するとともに、各種支援制度について情報提供などを行う。	
		実績値	0	0	0	0		—		

小計(事業数:8、KPI数:7)

第2期砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI集計表

基本目標2 新しいひとの流れをつくる

数値目標	基準値	目標値	区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	5年間の 合計	令和6年度実績値に対する所見
観光入込客数	1,625千人(令和元年)	1,638千人(令和7年)	目標値	1,627	1,630	1,633	1,635	1,638	—	観光需要はコロナ前の水準に戻りつつあるが、昨年同様、コロナ禍での生活意識や行動変化等の影響により、目標値を下回ったものとする。 今後は引き続き、情報発信の時期や内容が効果的になるよう、各観光関連団体や事業者と連携を図る。
			実績値	902.9	1,168.5	1477.4	1476.3		—	

施策名・事業名		重要業績評価指標 (KPI)	区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	5年間の 合計	令和6年度実績値の増減理由及び今後の取り組み
(1) 地域と多様な形で関わる人口の拡大										
① 移住定住の促進										
移住定住促進事業	お試し暮らしの利用組数 ／7組 (令和元年)→55組 (5年間)	目標値		11	11	11	11	11	55	令和6年度のお試し暮らしの利用は、利用者数が9組20人と昨年度(13組28人)より減少し、目標値は達成できなかった。1組あたりの滞在日数が昨年度を上回ったこと、お試しハウス1棟の設備不具合により途中から利用受付を停止したことが原因と考えられる。令和7年度は利用者の増加を目指し、引き続き市HPやSNS等による情報提供の充実を図る。
		実績値		2	6	13	9		30	
医療・介護従事者移住定住促進事業	補助金交付件数 ／一件 (令和元年)→10件 (各年度)	目標値		10	10	10	10	10	—	目標値に対し、2件の減であり、概ね見込みどおりの実績であった。 令和7年度より制度移行し、対象を市内企業の就労者に拡充している。今後においても、情報提供の充実を行い、利用促進を図る。
		実績値		9	9	11	8		—	
UIJターン新規就業支援事業	支援金交付件数 ／一件 (令和2年)→1件 (各年度)	目標値		—	1	1	1	1	—	該当企業に勤務等する実績がなく、件数は0件となっている。 企業訪問等を通してPRし今後も事業実施に向け周知を進める。
		実績値		—	0	0	0		—	
	マッチングサイト求人掲載数 ／一社 (令和2年)→5社 (各年度)	目標値		—	5	5	5	5	—	3件(村田施設工業、結デザイン、UDトラックス)の登録があったが、今後も周知を進め、掲載数の増加および事業実施に努める。
		実績値		—	0	1	4		—	
② 観光振興の推進										
観光客誘客宣伝推進事業	観光入込客数 ／1,625千人 (令和元年)→1,638千人 (令和7年)	目標値		1,627	1,630	1,633	1,635	1,638	—	観光需要はコロナ前の水準に戻りつつあるが、昨年同様、コロナ禍での生活意識や行動変化等の影響により、目標値を下回ったものとする。 今後は引き続き、情報発信の時期や内容が効果的になるよう、各観光関連団体や事業者と連携を図る。
		実績値		902.9	1,168.5	1477.4	1476.3		—	
	砂川観光協会ホームページアクセス数 ／132千件 (令和元年)→134千件 (令和7年)	目標値		132.4	132.8	133.2	133.6	134.0	—	旅行需要及び市内イベントコンテンツがコロナ前の水準に戻ってきている背景下、イベント告知の確実な実施と店舗情報のリアルタイムでの最新への更新といった努力によって、目標値を上回ったものとする。 今度も、情報発信の時期や内容が効果的になるよう、各観光関連団体や事業者と連携を図る。
		実績値		132.6	157.7	161.2	140.2		—	
ふるさと応援寄附金推進事業	ふるさと応援寄附者の情報メール新規登録件数 ／87件 (令和元年)→120件 (各年度)	目標値		120	120	120	120	120	—	ふるさと応援寄附金の寄附者が増えたことによる増加。今後は、返礼品を充実させ、寄附者のさらなる増加を目指す。
		実績値		231	175	426	565		—	
③ まちなかのにぎわい創出										
駅前地区整備事業	施設前の歩行者通行数 ／273人/日 (令和元年)→327人/日 (令和7年)	目標値		—	—	—	330	327	—	施設整備中であったため、歩行者数を計測していない。
		実績値		—	—	—	—		—	
(2) 高等学校の活性化										
① 地元学校への進学促進										
砂川高校支援事業	砂川高校入学間口数 ／3間口 (令和元年)→3間口 (令和7年)	目標値		3	3	3	3	3	—	令和6年度も2間口であり、目標値を達成することはできなかった。入学者数も前年度(65人)より減少し、50人となった。今後も充実した支援内容の検討と、砂川高校の特色を広く周知するための方策について、高校等と連携を図っていく。
		実績値		3	2	2	2		—	

小計(事業数:7、KPI数:9)

第2期砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI集計表

基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

数値目標	基準値	目標値	区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	5年間の 合計	令和6年度実績値に対する所見
出生数	74人(令和元年)	108人(令和7年)	目標値	—	—	—	—	108	—	令和6年度の出生数は71人、合計特殊出生率は1.19となった。 新生活応援事業や妊娠から子育て支援施策など子育て環境整備が評価されてきてはいるが、社会環境、経済状況等にも影響されるため、今後も市全体としての取り組みを推進していく。
			実績値	72	83	53	71		—	

施策名・事業名		重要業績評価指標(KPI)		区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	5年間の 合計	令和6年度実績値の増減理由及び今後の取り組み
(1) 若い世代の結婚支援											
① 婚活支援の推進											
すながわ出会い創出支援事業	実施事業への参加者数 ／0人(令和元年)→30人(各年度)	目標値	30	30	30	30	30	—	令和6年度は、新型コロナウイルス感染症が5類へ移行してから初めてイベントが開催され、イベント自体の参加者は募集定員を超えたものの、1団体1件のイベント開催に留まったことから、参加者数は目標値に到達しなかった。令和7年度は、各団体とイベント開催に向けた交渉を引き続き行い、イベント開催の際にはPR等の面で協力・連携していく。		
		実績値	0	0	0	24	—				
結婚新生活支援事業	支援を受けた組数 ／－組(令和元年)→5組(各年度)	目標値	5	5	5	5	5	—	対象となる可能性のある新婚世帯には漏れなく周知を行っており、実績値は目標値の5組を上回っている。今後も制度の周知を図るとともに、対象者の拡大等、国の制度改正状況を注視していく。		
		実績値	5	3	10	8	—				
(2) 妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援											
① 妊娠・出産への支援の実施											
特定不妊治療費助成事業	利用者アンケートにおいて「満足」と回答した割合 ／100%(令和元年)→100%(各年度)	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	—	実績値は未達成となるが、今年度延11人中実6人へ助成した。保険適用後の全額助成事業であり、概ね好評であるが、一部制度の理解が難しいという声もあり、周知方法について再考していく必要がある。		
		実績値	100.0	100.0	0.0	83.3	—				
妊婦一般健康診査費用助成事業	妊婦健康診査補助券使用枚数 ／525件(令和元年)→670枚(各年度)	目標値	670	670	670	670	670	—	妊娠届出55名、転入6名。全妊婦が必要な時期に健診を受診している。道内での里帰りの場合は各医療機関と委託契約を締結し、道外の場合は償還払いの対応等経済的負担の軽減を図っており、今後も継続していく。		
		実績値	577	528	501	438	—				
子育て世代への切れ目ない相談支援事業	訪問指導実施率 ／－(令和元年)→100%(各年度)	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	—	実績値の内訳は、初妊婦訪問及び乳児全戸訪問の実施率については100%である。妊娠期からの継続した乳幼児健診等の相談・学習の機会を通して、切れ目のない支援が継続されている。		
		実績値	96.9	95.6	96.7	100.0	—				
陣痛タクシー事業	陣痛タクシー利用登録率 ／44.7%(令和元年)→60%(各年度)	目標値	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	—	登録者36名の内、2名の利用があった。妊娠届出や中期面談時に周知をしているが、登録率の目標に達していないことは、家族等の協力があると推測する。引続き、必要な妊婦へ事業が認知され、出産時の安心に繋がるよう、周知を継続していく。		
		実績値	46.1	52.6	48.3	50.7	—				
② 子ども・子育て支援の充実											
病児・病後児保育事業	病児・病後児保育充足率 ／100%(令和元年)→100%(各年度)	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	—	利用登録者117名、実利用者32名、延べ利用者数89名。 利用登録者と実利用者は前年比で増であるが、延べ利用者が前年比で減となっている。アンケートにおいても、「保護者が仕事を休めた」等により施設を利用しなかった回答が見られた。 今後は、アンケートで記述があった兄弟同時利用での経済的負担の軽減や予約や空き状況の確認をシステム等で可能とする手続きの簡略化など取り組むべき課題がある。 引き続き、保護者のセーフティーネットとして施設の理解促進と安全・安心な環境を整備していく。		
		実績値	100.0	100.0	100.0	100.0	—				
市立保育所開放事業	参加親子組数 ／102組(令和元年)→150組(各年度)	目標値	150	150	150	150	150	—	今年度においても開催中止はなく、前年比で参加親子組数が増加している。令和6年10月にさくら保育園においてノロウイルスの集団感染が発生した際には、予約者に情報提供して控えた世帯もあった。 保育所が持つ専門的機能を地域の保護者へ積極的に提供していく必要があり、今後利用者が増加するように取り組む。		
		実績値	24	37	33	44	—				
市立保育所一時保育事業	一時保育事業実施率 ／100%(令和元年)→100%(各年度)	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	—	延べ利用者828名。私的理由(主にリフレッシュ)」での利用が8割、「非定型的保育」での利用が1割、1割が「緊急保育」による利用である。 今年度「私的理由」での利用が前年度比で3倍程度増加しており、定期利用する保護者が多く、今後も保育士を確保した中で、様々なニーズに応えられる体制を整えていく。		
		実績値	100.0	100.0	100.0	100.0	—				
学童保育事業	学童保育所待機児童数 ／0人(令和元年)→0人(各年度)	目標値	0	0	0	0	0	—	今年度も待機児童を出すことなく運営できた。 安定的な運営のため、放課後児童支援員認定資格を持った指導員を一人でも多く確保する必要があることから、引き続き任用している指導員の中で研修受講要件を満たす方に対し、研修受講を促していく。 令和8年度の義務教育学校や北地区での学童保育所開設に向け検討すべき課題がある。		
		実績値	0	0	0	0	—				
保育・教育施設ICTシステム導入事業	利用者登録率(保育所) ／－(令和4年)→100%(令和7年)	目標値	—	—	100.0	100.0	100.0	—	コドモンアプリの保護者利用登録率は100%であり、児童の欠席連絡、登降園管理、保育所からお知らせ等で、コドモンアプリを活用して保護者と連絡を行っている。 今年度は事務作業である指導案の作成においても、コドモンを使用し業務の効率化を図っており、引き続き保護者の利便性の向上を第一に職員の業務効率化を含め取り組んでいく。		
		実績値	—	—	100.0	100.0	—				
	利用者登録率(幼稚園) ／－(令和5年)→100%(令和7年)	目標値	—	—	—	100.0	100.0	—	アプリ登録率は100%であり、目標値を達成することができたほか、天使幼稚園にコドモンを導入したことにより、幼稚園と保護者間の情報連携が図られた。また、小・中学校においても同一のシステムを使用することから、小学校入学時には不便なく使用できるものとする。		
		実績値	—	—	—	100.0	—				
	利用者登録率(小中学校) ／－(令和4年)→100%(令和7年)	目標値	0	0	100.0	100.0	100.0	—	今年度についても目標値を概ね達成しており、コドモンアプリを通じた学校からの情報発信のほか、スクールバスの乗降状況や位置情報の把握により、学校と保護者間の情報連携が図られた。今後も利便性の向上を図るため取り組みを進める。		
		実績値	0	0	99.7	99.6	—				

第2期砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI集計表

施策名・事業名		重要業績評価指標 (KPI)	区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	5年間の 合計	令和6年度実績値の増減理由及び今後の取り組み
	③ 子育て世帯の経済的負担の軽減									
	ふしぎの森利用料無料クーポン券支給事業	クーポンを利用した世帯の割合 ／57.7% (令和元年)→60% (令和7年)	目標値	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	—	目標値は達成できなかったが、クーポン券利用世帯数はコロナ前(令和元年度)の実績値57.7%に近い水準まで増加しており、引き続き周知を図っていく。
			実績値	32.7	49.7	50.9	56.1		—	
	子ども医療費無料化事業	KPIの設定が困難なため設定しない ※令和4年度までは「対象者1人当たりの助成額(単位:円)」をKPIに設定していたが、医療費の無料化に伴いKPIを精査し、助成額で事業の有効性を図ることは困難と判断したことから、令和5年度からはKPIを設定していない。	目標値	8,400	8,400	—	—	—	—	令和6年4月からの対象者の拡大の影響により、前年に比べ医療扶助費が増大したことから、子育て世帯の負担軽減に役立てられていると考えられる。医療費が高くなることが必ずしも良いとは言えない部分があるが、子育て世帯の負担軽減となるよう、必要な時に医療を受けやすい環境の整備を継続していく。
			実績値	7,493	7,758	—	—	—	—	
	インフルエンザ任意予防接種費用助成事業	接種率 ／55.9% (令和元年)→60% (令和7年)	目標値	57.0	58.0	59.0	60.0	60.0	—	新型コロナウイルスワクチン定期接種の開始初年度となり、医師会の協力のもと、接種期間を拡大、子どもが受けやすくなるようワクチン種類の拡大を行い体制を整えたが、昨年並みの接種率にとどまった。今後も希望する人が接種できるよう周知、負担額の助成を継続していく。
			実績値	39.9	45.9	40.6	40.3		—	
	学校給食費無償化事業	KPIの設定が困難なため設定しない	目標値	—	—	—	—	—	—	学校給食費の無償化により、子育て世帯の経済的負担を軽減できた。 令和7年度においては学校給食費の値上げにより予算額は増大するが、継続して全額無償化を実施する。
			実績値	—	—	—	—	—	—	
	保育所給食費無償化事業	保護者満足度 ／— (令和5年)→80% (令和7年)	目標値	—	—	—	80.0	80.0	—	保育料軽減対象の実人数37人、副食費軽減対象の実人数111人であり、対象保護者へのアンケート調査で95.7%の保護者が「満足」「やや満足」しているという回答があった。 今後においても、保護者の経済的負担軽減を図る本事業を継続していく。
			実績値	—	—	—	95.7		—	
	幼稚園等副食費助成事業	保護者満足度 ／— (令和5年)→80% (令和7年)	目標値	—	—	—	80.0	80.0	—	副食費助成対象の実人数69人であり、対象保護者へのアンケート調査で77.8%の保護者が「満足」「やや満足」していると回答があった。 今後においても、保護者の経済的負担軽減を図る本事業を継続していく。
			実績値	—	—	—	77.8		—	
	④ 小中学校の学習環境の充実									
	放課後学習サポート事業	授業理解度 ／85.0% (令和元年)→87.5% (令和7年)	目標値	85.0	85.0	85.0	87.5	87.5	—	結果として過去最高の数値となり、目標値は元より全国(84.2)・全道(82.1)平均と比べても大きく上回った。学校における授業改善と本事業における補充的な学びが両輪として機能し、一定の成果が出ているものと考察する。今後も更なる参加者増を図るべく周知を充実させ、学習意欲の向上と学習内容の理解を深化させる指導を推進する。
			実績値	87.8	83.0	85.8	90.1		—	
	中学校英語教育推進事業	英語検定合格率 ／— (令和元年)→50% (令和7年)	目標値	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	—	実施4年目となった令和6年度では、105名の受検があり76名が合格した。(72.4%)合格率としては目標値や昨年度を超え一定の効果はあったと考える。また、難関である、2級(高校卒業レベル 1名受験1名合格)や準2級(高校中級程度レベル 17名受験 10名合格)の受験者や合格者が出るなど、目標である英語力向上や学習意欲の向上の一助となっていると考察する。しかし、依然受検者が全体の約35%と受験率は上がったものの、まだまだ向上の余地があることから、学校との連携を図りながら当制度の更なる活用を奨励していく。
			実績値	75.0	69.3	65.2	72.4		—	
	小中学校適正配置推進事業	KPIの設定が困難なため設定しない	目標値	—	—	—	—	—	—	砂川市立小中学校統合準備委員会を6回開催し、砂川学園の校歌や校章、制服等について決定し、砂川学園スクールバスの乗車基準や運行経路、運行内容をまとめたスクールバス運行の協議に関する報告を行った。また、砂川市小中一貫教育推進委員会は4回開催し、小中一貫教育の導入・推進に向けて議論を重ね、令和7年度からの小中一貫教育の導入について決定した。今後も統合準備委員会では、砂川学園の開校に向けた協議、推進委員会においては、小中一貫教育の推進に向けた協議を行うとともに、閉校する6校の小中学校が実施する閉校記念事業に対し交付金を交付し、令和8年度の砂川学園の開校を円滑に進める。
			実績値	—	—	—	—	—	—	

小計(事業数:20、KPI数:19)

第2期砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI集計表

基本目標4 安心して暮らし続けることができる地域をつくる

数値目標	基準値	目標値	区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	5年間の 合計	令和6年度実績値に対する所見
人口増減率	△7.04％(平成27年～令和2年)	△5.13％(令和2年～令和7年)	目標値	―	―	―	―	△5.13％	―	基準値と令和6年度の実績値(R1～R6)を比較すると、人口減少が進んでいる傾向がみられる。R5年10月～R6年9月の自然・社会増減の合計は△333人と、前年度(R4年10月～R5年9月)の各減少値と比較すると自然減は47人、社会減は△17人であり、増加傾向が見られる。特に出生数は、前年度の54人に対し、令和6年度は74人と、20人増加しており、子育て支援策の重要性がうかがえる。今後も転出入者の傾向について調査を進め、対策につなげる必要がある。
			実績値	△7.77％	△8.38％	△9.11％	△9.39％		―	

施策名・事業名		重要業績評価指標 (KPI)	区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	5年間の 合計	令和6年度実績値の増減理由及び今後の取り組み
(1) 安心なくらしの確保										
① 地域包括ケアシステムの充実										
砂川市地域包括ケアネットワーク事業 (情報共有ネットワーク事業)	事業所が参照したデータ件数 ／21,866件(令和元年)→22,000件(令和7年)	目標値		22,000	22,000	22,000	22,000	22,000	—	事業開始から10年が経過し、患者の医療情報の参照件数は目標値を上回り安定的に推移している。在宅医療と介護をつなぐ地域包括ケアが今後も重要であることから、引き続きシステムを活用し情報連携の充実を図る。
		実績値		30,378	29,921	29,215	27,852		—	
② 健康維持・増進の推進										
健康管理支援事業	国保特定健診受診率 ／54.7%(令和元年)→60%(令和7年)	目標値		60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	—	R5年度特定健診受診率は55.8%となり前年度より3.8ポイント増となった。R6年度受診率はR7年4月末現在で47.4%である。引き続き受診率向上に向けて未受診者対策を継続していく必要がある。後期高齢者健診においては市内の1医療機関が閉院となり受診できる医療機関が減ったが、集団健診受診数を増やし例年通りの受診数を維持できた。がん検診は子宮・肺・大腸がんにおいて10数名の受診増となったが、受診率は胃・肺・大腸がん検診6～7%、子宮・乳がん検診10～20%と国の目標受診率50%と差が大きいため、引き続き受診率向上に向けた取り組みが必要である。乳幼児健診は例年通り100%を維持している。
		実績値		48.3	52.0	55.8	暫定値47.4		—	
健康ポイント事業	参加申請者数 ／991人(令和元年)→1,250人(令和7年)	目標値		1,050	1,100	1,150	1,200	1,250	—	ポイント対象事業の各種健(検)診や講演会等が予定どおり実施され、ポイントを獲得できる対象事業実施団体も増え、ポイント付与の機会が増えた。申請数が昨年度より増え、ポイント達成者も過去最高の484人に達した。次年度更に若年者も含め事業に参加しやすいよう手軽に利用できるスマホアプリの導入と紙のポイントカードも併用し実施していく。また申請者の7割が60代以上であるため、アプリ申請方法についても説明する機会を設けることが必要である。
		実績値		905	893	877	903		—	
若年者生活習慣病予防健診・産後生活習慣病予防健診事業	保健指導実施率 ／—(令和元年)→100%(令和7年)	目標値		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	—	小学5年生12名(受診率14.8%)、中学2年生12名(受診率11.0%)、成人4名、1歳6か月児の母4名に実施。中学生以下については保護者と本人に面接し(本人が来所できない場合は保護者のみ)、健診結果について伝え、精密検査が必要な児には精検票を配付し医療機関につなげた。また併せて成長発達を促すための保健指導と栄養指導を実施した。中学2年生の健診を開始したことで小学5年生時からの身体変化を確認でき、より効果的な保健指導を実施することができた。1歳6か月児の母の健診では妊婦健診以降自身の身体の状態を確認できる機会となり健診を継続的に受ける機会となった。
		実績値		100.0	80.0	100.0	100.0		—	
いきいき元気推進事業	レクリエーション活動等の利用者数 ／—(令和元年)→480人(各年度)	目標値		480	480	480	480	480	—	出張教室及び企画教室の開催回数の増に伴う実績値の増。 令和7年度も新たな隊員が加わるため、サービス水準を低下させないよう引き続き協力隊の活動を課全体で支えながら取り組んでいく。
		実績値		143	612	986	1,198		—	
③ 高齢者等の在宅生活の支援										
地域高齢者見守り事業	情報交換を実施した団体数(3年で一巡) ／30団体(令和元年)→30団体(各年度)	目標値		30	30	30	30	30	—	高齢者名簿情報提供事業で町内会役員が社協を訪れた際、地域包括支援センター職員と共に地域実情及び活動状況について聞き取りを実施。引き続き、情報提供事業の機会等を活用して情報交換を行っていく。
		実績値		0	39	24	32		—	
生活支援体制整備事業	地域事情の把握に努めた町内会・自治会の数 ／4団体(令和元年)→15団体(5年間)	目標値		3	3	3	3	3	15	各町内会との「地域の魅力と絆を語ろう会」は、一定の課題の掘り起こしがなされたことから終了した。令和6年度は地域の新規サロンの立ち上げのため空知太の3町内会等から聞き取りを行い、その後協議を進め令和7年度に新規サロンを開設する運びとなった。
		実績値		3	1	0	3		7	
④ 地域公共交通の確保・維持										
JR砂川駅設備改善事業	KPIの設定が困難なため設定しない	目標値		—	—	—	—	—	—	北海道新幹線札幌延伸工事や千歳市の次世代半導体製造拠点整備等の影響により、JR北海道の人員不足が恒常化しており、整備改善事業の協議は進展しない状況にある。また、令和12年度末の開業予定について、延伸工事が令和20年まで延期されると国土交通省より発表されたことから、早期実現がさらに厳しい状況にあるが、引き続き、北海道にも協力を仰ぎ、JR北海道と連携を図りながら、駅利便性向上の実現に向け、協議を進めていく。また、現在のご線橋について、簡易昇降機による利便性の向上を検討したが、ご線橋の強度問題や設置・運営にかかるコストの問題から課題が多く、費用対効果は低いと判断した。
		実績値		—	—	—	—	—	—	
予約型乗合タクシー運行事業	乗合タクシーの利用者数 ／8,431人(令和元年)→8,431人(各年度)	目標値		8,431	8,431	8,431	8,431	8,431	—	乗合タクシー登録者が増加したことや、周知を行ったことにより利用者が増加した。今後も市民の日常生活に必要な交通手段を確保することで、市民生活の利便性の向上を図る。
		実績値		8,583	9,304	10,762	11,794		—	
⑤ 災害対策の実施										
防災情報発信事業(災害対策事業)	SNS砂川市公式アカウント登録率 ／—(令和元年)→13%(令和7年)	目標値		8.2	9.4	10.6	11.8	13.0	—	防災情報、悪天候が予想される場合の注意喚起情報等について情報発信した。 今後もSNSの特性を生かした情報伝達を行い、新規登録者増加を目指す。
		実績値		15.6	19.5	23.1	25.7		—	
自主防災組織育成事業(災害対策事業)	自主防災組織数 ／13団体(令和元年)→15団体(令和7年)	目標値		14	14	15	15	15	—	新規設置あり。 令和6年度に1件の自主防災組織が設置された。今後も目標値を達成できるように未設置の町内会へ働きかけを続ける。
		実績値		13	13	13	14		—	
⑥ 暮らしを支えるデジタル化の推進										
住民票等コンビニ交付サービス事業	発行した証明書の件数 ／—(令和2年)→2,121件(令和7年)	目標値		—	264	1,272	1,483	2,121	—	サービス開始から2年が経過し、市民等への認知が広まったことからほぼ毎日利用者がおり、また、マイナンバーカード保有枚数率の増加に伴い、目標値を上回る安定的なサービス運用が図られている。 今後も引き続き窓口や市HP等での周知に努める。
		実績値		—	328	1,440	1,841		—	
	マイナンバーカード保有枚数率 ／27.4%(令和2年)→100%(令和7年)	目標値		—	50.0	60.0	70.0	100.0	—	広報等の内容を工夫し、カードの作成意欲を高める情報発信を行ったこと、また、高齢者施設等への出張申請を行ったことが要因として考えられる。 従来の保険証の発行が終了したことに伴い、マイナ保険証へ移行する方等への周知を今後も行っていく。
		実績値		—	72.6	74.2	79.1		—	

第2期砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI集計表

施策名・事業名		重要業績評価指標 (KPI)	区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	5年間の 合計	令和6年度実績値の増減理由及び今後の取り組み
(2) 空き家の利活用等を推進した住宅ストックの強化										
① 良質な住宅ストックの確保										
ハートフル住まいる推進事業	補助金交付件数 ／216件(令和元年)→150件(各年度)	目標値		150	150	150	150	150	—	過去3か年に比べ、実績額、実績値が減少しており、近年の物価高騰などが原因と窺える。 5つの補助金事業として実施しているが、誰もが安全で安心して住み続けることができる住環境づくり、定住促進、まちなか居住に寄与しているものであり、令和7年度から補助金制度の拡充を行うにあたり、状況に応じた制度の見直しや拡充を行い、事業を継続する。
		実績値		258	266	269	245		—	
住み替え支援事業	補助金交付件数 ／115件(令和元年度)→87件(各年度)	目標値		87	87	87	87	87	—	目標値に対し5件の増で、概ね見込みどおりの実績であり、補助金制度のPR活動により、制度の浸透が図れたと考える。 今後も継続してPR活動を行い、空き家の利活用や移住定住の促進を図る。
		実績値		95	103	112	92		—	
(3) 広域連携による経済・生活圏の形成										
① 他の地方公共団体と連携した施策の実施										
広域行政推進事業	KPIの設定が困難なため設定しない	目標値		—	—	—	—	—	—	各種事業や共同処理事務は順調に実施され、広域的な事業展開が図られている。現行の第4次ふるさと市町村圏計画の計画期間が令和8年度末までであるため、令和7年度は計画期間終了後の共同処理の取扱いについて、協議・検討を進める。
		実績値		—	—	—	—	—	—	
定住自立圏推進事業	KPIの設定が困難なため設定しない	目標値		—	—	—	—	—	—	令和6年度は、地元学生を対象とした合同企業説明会を開催し、122名の高校生が参加し、地元企業を知る良い機会となった。前年度はインフルエンザの流行により参加者数が減少したことから、例年より開催時期を早めたところ、参加者数が増加した。今後も広域連携事業として圏域の就業情報等の発信に継続して取り組むほか、他の連携事業についても他市町と連携・協力しながら実施する。
		実績値		—	—	—	—	—	—	
(4) 市民が地域づくりの担い手となる環境の確保										
① 市民が主体的に地域づくりに 参画することができる環境・仕組みづくり										

小計(事業数:16、KPI数:14)

合計(事業数:51、KPI数:49)